

市報特集号の反響

(市民の方からのご意見)

- 1月15日市報で、クリーンセンターの建て替えが必要との特集を見ました。クリーンセンターが出来た当時のごみと現在のごみの内容が変わってきているでしょうが、またこの先の30-50年のごみも変わってくるでしょう。問題は、CO₂も含めごみの減量のことでしょう。

生活をしていく上で、いつの時代でも、ごみが出ない訳にはいきません。ごみの有料化、CO₂の問題で住民の意識はここ10年、大分変わってきているはずです。エコバックもその一つです。ただ、ごみの減量の限度をどのように市では見えていますか？生活する、あるいはしている以上最低限ごみは出ます。昭和30年頃であれば、物を大切に直して使い、トレーもなく、ポリ袋もなく、みな節約生活でした。当時のごみは今の10分の1だったでしょう。

出すごみによってはまだ使えるような無駄なものもあるでしょう。これは、今の生活に慣れ、時代の流れでしょうから、「ごみを減らす」ということは一番難しい問題です。人間の欲得とも絡んできます。

そこで一案ですが、住民の方はごみ処理が大事なことで、必要と十も知っていますから、各税と同じように捨てる量によって、今の有料価格を引き上げ、もって「ごみ税」に対する意識を確立する方向に今後移行するようにしたらどうでしょうか。

口でいくら言ってもだめだと思います。(FAX 桜堤)

- ささやかな提案があります。チェーン組織の喫茶店で紙コップで飲み物を出しています。一方で陶器のマグカップでも提供しています。紙コップを中止すればマグカップを何回も洗って使えるので有利です。コカ・コーラにも加わってもらえたら有利ですね。(はがき 境南5)

他に、工場見学に来られた方が一名、埋め立てごみについて、及び建て替えの必要性とごみ質の関係性などについての電話での問い合わせが二件ありました。